

## 悲しみを乗り越え困難を打ち破ろう 分会組合員の全員無事を確認

東日本大震災は、多くの尊い命を奪い、家を破壊し、町を壊滅状態としました。海岸近くの状態は、まるで戦争映画の廃墟を見ているようです。

国労東北工事事務所分会の組合員は、全員無事であることは確認できました。しかし、坂本副委員長の最愛の息子さんが津波の犠牲となってしまいました。聞くところによると、消防士として現場に向かい、おばあさんを救助し、背負って逃げようとしたが、間に合わなかったようです。心より御冥福をお祈りします。

また、居住が壊滅状態で非難を余儀なくされている方もいます。御家族が体調を崩されている方もいます。遠方から通勤されている方は、線路が破壊されているため通勤手段を奪われ、復興の手助けに向かうことができず、いらいらとした気持ちを募らせています。

一方、線路の復旧現場では、自ら避難所生活を強いられている作業員の方が日夜奮闘しています。みんな、この困難を乗り越えようと必死です。

この2週間、現地調査などに多くの国労組合員が向かったため、分会機能が麻痺した状態で、仲間の皆さんには大変ご迷惑をかけたこととお詫びします。

当面、皆さんが困っている問題の集約を図り、その解決に向け努力していきます。現時点で、執行部が把握している内容は、①住居や家具等の破損への保障について、②勤務の取扱い(障害・33発動・残業他)、③通勤でバスやタクシーを使用した場合の保障、④遠距離通勤や別居をしている方が、家族の元へ帰る方策について、⑤健康管理についてです。

仲間の皆さんへのお願いです。住居や家具等が被害にあわれた方は執行部まで報告願います。その他に何でも結構です。困っていることがありましたら連絡をお願いします。

連絡先は、舟濤委員長と菊田書記長までよろしく願います。舟濤委員長が勤務の場合は仙台工事区へ、休みの場合は携帯(090-7339-7901)まで、菊田書記長は職場が対策本部のため携帯(080-1808-0875)まで願います。

今回、緊急のため特別紙面としました。通常通りの配布が出来るまでこのような紙面で発行をしていきます。